

政策整理番号 10

評価シート(B)

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部自然保護課	関係部課室	土木部河川課, 産業経済部 森林整備課
------	-----	-------	------------	-------	------------------------

政策番号	1 - 3 - 3	政策名	豊かな自然環境の保全・創造
------	-----------	-----	---------------

施策番号	6	施策名	自然とふれあう場や機会の提供
------	---	-----	----------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

<p>【政策評価指標達成状況から】 課題有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指標名:みどりとふれあえる空間の面積(森林公園等の面積) 達成度 B</li> <li>H17年度において,面積の増加はない。ただし,施設の利用者の安全の確保やサービスの向上など,維持・管理事業を重点的に実施している。</li> <li>県の財政面から面積の増加は難しいが,森林公園の利用者は徐々に増加の傾向にあることから施策の効果は表れている。</li> </ul> <p>【県民満足度(政策)の推移から】 概ね有効</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策満足度は55点と比較的高い数値になっており,概ね有効である。</li> </ul> <p>【社会経済情勢を示すデータの推移から】 該当なし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>該当なし。</li> </ul> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策評価指標の達成度は,財政面から増加が見込めずBであるが,政策満足度が比較的高いことや過去3年間において,着実に面積を増やしてきたことを考慮し概ね有効と判断する。</li> </ul>
--

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	みやぎ未来の森林整備事業	6		
2	主	生活環境保全林整備事業	7		
3	主	みやぎ未来の森林(七ツ森,縄文の森等)の整備	8		
4	主	県民の森中央記念館の改築	9		
5	主	市民の川づくり支援事業	10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号, 4号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

<p>【国,市町村,民間団体との役割分担】 適切</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(国)治山治水緊急措置法に基づき県の第9次治山事業7カ年計画を承認する。</li> <li>(県)計画に基づき生活環境保全林整備事業・みやぎ未来の森整備事業の実施。 森林公園内で観察会や森林林業について解説する人材の育成。 自然観察会・地域づくりの支援</li> <li>(市町村)生活環境保全林整備事業完了後,森林公園の管理運営を行う。</li> <li>(民間団体)観察会や自然教室の実施</li> <li>本施策に係る事業群は,それぞれの役割分担により,実施されており,県の関与は適切である。</li> </ul> <p>【施策目的を踏まえた事業か】 概ね適切</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業は自然とふれあう場や機会の提供という目的に沿った事業である。特に「市民の川づくり支援事業」は,河川に関する様々な市民団体の活動や河川を題材とした総合学習の支援を実施することにより,貴重な自然環境である水辺空間にふれる場や機会を提供している。</li> </ul> <p>【事業間で重複や矛盾がないか】 適切</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各々,目的・対象に応じた事業であり,重複や目的が矛盾する事業はない。</li> </ul> <p>【社会経済情勢に適応した事業か】 概ね適切</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民の森林や自然に対する要請は多様化するとともに,地球温暖化を始めとする地球規模での環境悪化等に対する関心も高く,自然環境の整備,保全を望む声有一段と高まっている。</li> </ul> <p>【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性) 概ね適切</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策満足度は50点,重視度は70点と高い水準ではないが,かい離は20点と高くなっており,事業の必要性は高いと判断する。</li> </ul> <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活保全林整備事業は,施設等の整備は県が実施,事業完了後の維持管理は市町村が行い,県・市町村が一体となって実施に努めており,それぞれの役割分担により,適切に行われている。また,市民の川づくり支援事業の実施は,民間団体主体に自然とふれあう機会を提供し,施策に沿った事業となっており,概ね適切と判断する。</li> </ul>
--

施策番号	6	施策名	自然とふれあう場や機会の提供
------	---	-----	----------------

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

<p>【施策満足度から】概ね有効                  ・施策満足度は、50点と中程度であり、満足度60点以上と回答している割合が4割を超えていることから概ね有効と判断する。</p> <p>【政策評価指標達成状況から】課題有 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋                  ・これまでの政策評価指標の達成度は、生活環境保全林事業によるところが大きいですが、16年度以降の公共事業の縮減により、面積が増加できず、今後も厳しい状況である。</p> <p>【社会経済情勢を示すデータの推移から】判定不能                  ・有効性について、社会経済情勢と直接結びつくデータがないため、判定できない。</p> <p>【業績指標推移から】課題有                  ・一部の事業について、業績指標が設定できないことや予算措置がなされないものもあり、判断できない。</p> <p>【成果指標推移から】課題有                  ・事業の性質上、成果指標の設定ができず、活動によりもたらされる成果が見えない。</p>
<p>【総括】                  ・生活環境保全林整備事業は、面積の増加はなかったが、保健休養・レクリエーションの場など、県民の保健休養に供され、効果が期待できることから、今後も推進する必要がある。また、みやぎ未来の森整備計画についても、当面、維持・管理に努めるが、計画どおり事業実施することにより、指標の達成に貢献できる。                  ・市民の川づくり支援事業は、政策評価指標に直接反映されるものではないが、ソフト事業として施策の達成に有効である。なお、一部事業において、業績指標や成果指標の設定ができない等の課題もあるが概ね有効と判断する。</p>

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的	概ね効率的	課題有
-----	-------	-----

<p>【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】課題有                  ・政策評価指標達成度は、ここ数年Bである。業績指標については、設定できない事業がある。また、成果指標が設定できないことから判断できない。</p> <p>【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】判定不能                  ・業績指標、成果指標について、問題があることや直接、効率性と結びつく社会経済情勢のデータもないことから判定できない。</p> <p>【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】課題有                  ・事業費の予算規模に変動が大きいことや業績指標の設定ができない事業があり判断できない。</p>
<p>【総括】                  ・個々の事業については、必要な事業であり、政策評価指標の達成に寄与するものであるが、事業の性質上、成果指標が設定できず、活動による成果が見えないことや業績指標も一部設定できないことから事業の効率性については、課題有りと判断する。</p>

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

<p>・B-1 施策目的達成のための事業の設定は概ね適切である。それぞれの役割分担の中で事業を実施しており、県の関与も適切である。</p> <p>・B-2 財政面から評価指標の達成は難しい状況であるが、計画どおり事業実施することで今後の達成に貢献できることから概ね有効と判断する。</p> <p>・B-3 成果指標が設定できないことや一部事業に業績指標が設定できない等、効率性の判断ができないため課題あり。</p> <p>・生活環境保全林整備事業は、数値目標である森林公園等の面積確保について、国、県、市町村と連携を図りながら計画的に実施され、これまで、施策の目標達成に貢献して来た。また、市民の川づくり支援事業については、自然とふれあう場や機会の提供の施策目的達成に貢献している。</p> <p>・みやぎ未来の森林整備事業は財政的制約はあるものの、目的達成に有効であるため、計画的に実施する必要がある。なお、事業の効率性について課題は残るが事業群は概ね適切と判断する。</p>
---

政策整理番号 10

事業分析カード(業績)

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部自然保護課	関係部課室	土木部河川課, 産業経済部森林整備課
------	-----	-------	------------	-------	--------------------

政策番号	1 - 3 - 3	政策名	豊かな自然環境の保全・創造		
------	-----------	-----	---------------	--	--

施策番号	6	施策名	自然とふれあう場や機会の提供		
------	---	-----	----------------	--	--

活動(事業) / 活動(事業)によりもたらされた結果								
事業番号	事業名 【担当課室名】	H17 事業費 (千円)	事業の対象 (誰・何を対象として、具体的に)	事業の手段(内容) (何をしたのか、具体的に)	業績指標名 (事業の活動量。「事業の手段」に対応)	H15	H16	H17
						事業費(千円)		
						効率性指標 (3.5E-02は3.5 × 10 <sup>-2</sup> )		
1	みやぎ未来の森林整備事業(七ツ森森林公園整備事業) 【自然保護課】	721	七ツ森地区の整備と維持管理	管理道路や遊歩道の刈り払いを実施。また、七ツ森森林公園整備方針検討会を開催し、今後の利活用促進の検討を行った。	刈払い等整備面積(ha)	25,058 0.0E+00	433 1.2E-03	721 6.4E-04
2	生活環境保全林整備事業 【森林整備課】	0	生活環境保全や保健休養機能の高い重要な森林	保健休養・レクリエーションの場として公園施設を整備する。	森林公園の面積(ha)	32,741 3.1E-05	0 0	0 0
3	みやぎ未来の森林の整備(施設等の維持管理:桑沼地区) 【自然保護課】	1,304	桑沼地区の維持管理	遊歩道の刈り払いや防護策を設置した。	刈払い等整備面積(ha)	1,221 1.8E-03	1,322 1.7E-03	1,304 1.7E-03
3	みやぎ未来の森林の整備(七ツ森, 縄文の森) 【自然保護課】	0	七ツ森地区, 狸々池地区の整備	森林の整備や遊歩道の刈り払いを実施する。		0	0	0
4	県民の森中央記念館の改築 【自然保護課】	0	県民の森中央記念館施設	老朽化の著しい中央記念館を改修する。		0	0	0
5	市民の川づくり支援事業 【河川課】	688	河川に関する市民団体(NPO等)	広瀬川親子自然教室開催及び貞山堀自然観察会開催の支援を行った。	河川を題材とした総合学習を行う市民活動への支援回数	1,000 3.0E-03	940 2.1E-03	688 2.9E-03
7	[ ]							
8	[ ]							
9	[ ]							
10	[ ]							
	[ ]							
	[ ]							
	事業費合計	2,713						



政策評価指標分析カード(整理番号1)

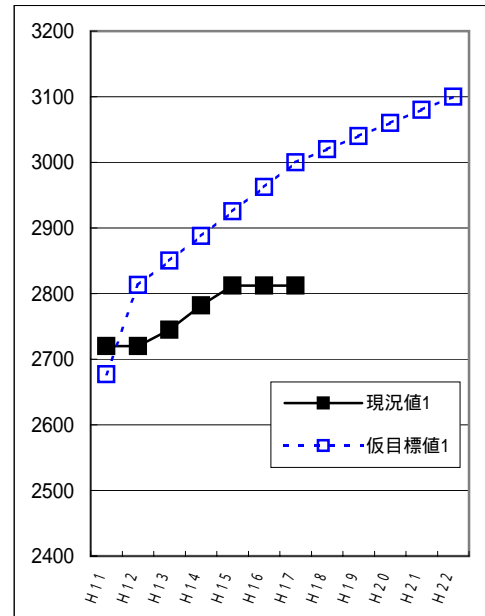
政策整理番号 10

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部自然保護課	関係部課室	土木部河川課, 産業経済部 森林整備課
政策番号	1 - 3 - 3	政策名	豊かな自然環境の保全・創造		
施策番号	6	施策名	自然とふれあう場や機会の提供		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位							
みどりとふれあえる空間の面積(森林公園等の面積)		ha							
目標値	難易度	H17	3,000	H22	3,100				
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	
測定年	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	
現況値 (達成度判定値)	2,673	2,720	2,720	2,745	2,782	2,812	2,812	2,812	
仮目標値		2,677	2,813	2,850	2,888	2,925	2,963	3,000	
達成度		A	B	B	B	B	B	B	

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

・環境や人間生活にとって大切であり、多様な公益的機能を有する森林を整備・保全するとともに、県民共有の貴重な財産として次世代に継承することにより、貴重でみどり豊かな自然環境の保全が図られることから、森林公園等の面積を指標とした。

(3) 施策満足度の推移

年度	H17	参考: 第2~4回の推移					
施策重視度(中央値、点)A	70	H16	H15	H14			
施策満足度(中央値、点)B	50	70	70	70			
かい離 A-B	20	55	55	60			
満足度60点以上の回答者割合(%)	41.8	15	15	10			
		46.6	45.9	50.7			

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直しして実施しました。第2~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

達成度: B  
 ・これまでの整備箇所は生活環境保全林事業によるものが大きく、計画的に実施されてきたが、公共事業の見直しにより事業実施が困難になり、ここ数年は達成が難しい状況にある。  
 ・みやぎ未来の森林「七ツ森地区」については、県の財政状況から整備は困難な状況にあるが、今後の検討により、整備が実施されると飛躍的に面積が増加する可能性がある。

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

継続

要検討

[施策の有効性を評価する上で適切な指標か]  
 ・指標制定以降の森林公園等の面積については、生活環境保全林整備事業によるものが殆どである。各事業については、政策達成のために必要な事業であるが、県民の森中央児童館の改築事業など指標に反映されない事業があることや、指標の達成は予算措置と密接な関係にあるため、今後、目標値とのかい離が拡大する懸念もあり課題も多いが、これに代わる指標もないことから継続はやむを得ないと考えられる。

# 施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 10

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部自然保護課	関係部課室	土木部河川課, 産業経済部 森林整備課
政策番号	1 - 3 - 3	政策名	豊かな自然環境の保全・創造		
施策番号	6	施策名	自然とふれあう場や機会の提供		

## C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

[政策評価] 施策群設定の妥当性, 施策群の有効性  
・課題と対応策については, 該当なし

[施策評価] 事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性  
・課題と対応策については, 該当なし。

## C - 2 施策・事業の方向性

### 施策の次年度(H19年度)の方向性とその説明

方向性	拡充	維持	縮小
-----	----	----	----

[方向性の理由]

・「豊かな自然環境の保全・創造」の政策は政策重視度が80点と高くなっている。その中で「自然とふれあう場や機会の提供」は、施策重視度が70点、施策満足度が50点となっており、かい離度が20点と高いことから、本施策の必要性は高いと判断する。

・最近、森林セラピーなど、森林の持つ効能が見直されるなど、県民の自然に対する関心は高くなっており、自然とふれあう機会や場を提供することが必要と考えられる。

[次年度の方向性]

・みやぎ未来の森林整備事業(七ツ森地区)については、既存取得地の森林などを計画的に整備し、県民の学習・保健増進等に供することが必要である。また、早期に今後の利活用の方針を決定することが必要である。

・生活環境保全林については、市町村と連携を図りながら計画的に事業を推進する。また、河川事業については、自然とのふれあう場や機会の提供を行うため必要なソフト事業であり、今後とも事業の推進が必要である。

### 主要事業・重点事業の次年度(H19年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名	H17決算見込額(千円)	方向性	方向性に関する説明
1	主	みやぎ未来の森林整備事業	721	維持	都市近郊にありながら豊かな自然環境を有していることから、自然観察や体験学習の場として、早期に整備し、県民に提供する必要がある。
2	主	生活環境保全林整備事業	0	維持	森林の有する公益的機能の高度発揮のため、計画的な整備は豊かな環境の保全創造に大きく貢献するものであり、その波及効果が期待できる。
3	主	みやぎ未来の森林(七ツ森, 縄文の森等)の整備	1,304	維持	桑沼地区は歩道や防護柵など、管理のための維持補修を行う。
4	主	県民の森中央記念館の改築	0	維持	昭和43年にオープンした中央記念館の施設が老朽化しており、県民からの苦情も多く、改修を含めて新たな整備が必要。
5	主	市民の川づくり支援事業	688	維持	河川に関する様々な市民団体(NPO等)の活動や河川を題材とした総合学習の支援を行う。
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
		合計	2,713		